

オーディオマニアの二人が結婚したらこうなった

佐原 偉元

結婚前、妻は6畳の和室をリスニングルームにしていた、トランスポート役のデノンのDCD-S10ⅢをDAC64につなぎ、YBAのプリメインアンプを経由してボレログランデに至るシステムを組んでいました。その頃の彼女は、自分のオーディオの目標は「ディートリッヒ・フィッシャー・ディースカウをスピーカーの間に等身大に立たせることなのよ!」とよく言っていました。しかし色艶が過剰なぐらいの音が好みの私から見ると、彼女の音は高解像度ばかりが目立っていて、私は「筋肉質の骸骨」と評していました。解像度もエネルギー感もあるのだが、潤いが足りないと感じていたものです。今思えば何と思いやりのない言い方をしていたのでしょうか。



結婚前にアクセサリ類をいくつか妻にプレゼントしましたが、すべては「オーディオアクセサリ」でした。しかしそれは彼女の希望でありました。当時妻はインシュレーターなどの自作もしていて、メタルやブチルを使うものの、表面は女性らしく色あざやかな絹などできれいに仕上げていました。外見から「菓子折り」や「きんつば」と命名されたインシュレーターは現在も彼女の装置の一部を担っています。

現在の妻のシステムは、装置のグレードも上がっていることや、石井先生に設計していただいた部屋の残響音の質がよいことも相まって、バランスのとれたよい音だと思います。

普段はデノンのDP-S1+DS-S1のコンビをメインに使用していますが、このシステムは録音状態の悪さまでも目立たせる傾向があります。妻がライフワークにしているF・ディースカウについてはCDだけでも500枚ほど所有していますが、海外のレーベルの中には「膝上録音?」と思わせるほど録音状態の悪いCDもまれにあり、デノンのコンビでは落ち着いて聞くことができません。そんなときはマークレビンソンに登場してもらいます。どれほど録音状態の悪いCDでも我が家では陽気に楽しく聞かせてくれるからです。

私(夫)は結婚前、LINNのCDプレーヤーIKEMIからラックスマンのC10Ⅱ、M10Ⅱを経由してNautilus 802につないでいました。装置のグレードは変わりましたが、装置自体の音の傾向は変わっていません。しかし見えないところで変わったところもあります。

私は以前からチェロの独奏を聴くことが好きで、音をブレンドし、色艶のある音を目標としていました。当時使っていたケーブル類は主にPADやカルダスなどで、豊かな音作りが気に入っていました。当然現在のシステムにもこれらのケーブルを当初導入しました。しかしあるとき妻のソフトは妻の装置の方が楽しく聴けることに気がついたのです。当たり前かもしれませんが、お互いの装置にかけた費用の差を考えると納得できませんでした。

独唱者と伴奏ピアニストとの距離感。ピアノの細かなペダル操作音などまで録音されているこ

とをこれまで知りませんでした。妻の解説と共に、彼女の装置で再生してもらって初めて知った世界でした。妻の影響もあったのかもしれませんが「こんな音もおもしろいな」と思うようになりました。ですがその音は、私の装置からは出てきませんでした。そこで妻のアドバイスを受けながらケーブル類を1本ずつ入れ替える作業が始まりました。こと解像度に関しては妻のほうが耳がよいようなので、判定を下す役割は妻に任せてあります。私がケーブル類を交換し、リスニングポイントで聞いている妻に判断を仰ぎます。もちろん解像度だけで決めるわけではありません。色も香りも必要です。そこでメリット、デメリットを相談しながら決めるのですが、二人の判断が異なったことは、これまでのところありません。秋葉原のテレオンで何本かケーブルを借りてきては、いつもこのような合議を経て1本を決めています。ヨルマデザインやトランスペアレントは私の装置で高い解像度と豊かな音色を両立させてくれる点で気に入っています。

これからも私自身の音をなくすことはなく、妻の音（世界）も楽しめるシステムを構築したいと思っています。

演奏装置（夫：佐原偉元・さはら ひでちか）

スピーカー：B&W Nautilus 802

サブウーファー：ビクター SX-DW77

CD プレーヤー（ラック上段）：リン Sondek CD12

D/A コンバーター（ラック中段）：コード DAC64

プリアンプ（ラック下段）：ラックスマン C10 II

パワーアンプ：ラックスマン B10 II × 4

ラック：ゾーセカス

ケーブル類：電源ケーブル デジタル系用：トランスペアレント アナログ系用：TMD

アナログケーブル：ヨルマデザイン、トランスペアレント

スピーカーケーブル：アナリシスプラス

演奏装置（妻：佐原さとみ・さはら さとみ）

スピーカー：アコースティックラボ Bolero Grande

スーパートウィーター：テイクティ Batone

サブウーファー：ビクター SX-DW77

CD プレーヤー（左側ラック）：デノン DP-S1+DS-S1

CD プレーヤー（右側ラック）：マークレビンソン No.31L+No.360SL

プリアンプ（中央ラック上段）：ラックスマン C9 II

パワーアンプ（中央ラック下段）：ラックスマン M10 II

電源装置（ラック左側倉庫内）：CSE TX-2000

ラック：フィニッテエレメント

ケーブル類：電源ケーブル デジタル系用：トランスペアレント アナログ系用：AET 他

アナログケーブル：ASUKA、TMD 他

スピーカーケーブル：QED